

b) 概要とレジューメ  
家具の固定について

片山 晋

地震対策「家具の固定」



2013年1月29日  
防災塾・だるま

家具固定の必要性

家屋が丈夫で倒壊しなくても、家具が飛んで来れば致命傷の可能性がります。

- ・不安定な家具は震度5程度で転倒し、震度7では殆どの家具が転倒します。
- ・震度7やビルの高層階では、家具は単に転倒ではなく飛びまわります。
- ・重たい家具ほど暴れまわります。

家具固定の考え方



- ・寝室を優先して固定する。
- ・固定する相手（壁や天井）の強度を考慮して、しっかり固定する。
- ・3次元の動きを考慮する。
- ・小型の家具も子供には凶器。
- ・高級家具ほどしっかり固定する。

家具固定用グッズ

様々の物が売られているので、夫々の家具に適した固定をしましょう



家具固定の実際



家具の転倒防止を考える

①L型金物で固定

壁表のしっかりした柱に十分な大きさの木ネジで固定する。さらに④の結合金具と⑥のくさび板を併用する。



②突っ張り棒

しっかりした天井に有効。弱い天井の場合は当て板をする。空間を収納箱で埋めるのも有効。空間丈がある場合は不適當。



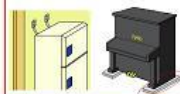
③チェーン・ベルト

壁の柱と家具の両者共にしっかりした場所にピンと張って固定する。⑥のくさび板を併用し家具上部を壁面に密着させる。



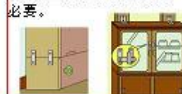
④キャスター物

ピアノ・冷蔵庫など車付き家具は、車を無効にすると共に、粘着型金物やベルトなどで固定する。



⑤戸棚対策と結合金具

扉はロック錠を取付ける。組み重ね家具は金具でしっかり結合する。チェーンやベルトで固定する場合は特に必要。



⑥くさび板・粘着マット

タンス・本箱・食器棚などは④の⑥と共に「くさび板」を併用する。置物は粘着マットを用いると共に重い物はロープが必要。

